

兵庫芸術文化センター「建物と人」バックステージツアー報告 (2021.12.8)

1. はじめに

兵庫芸術文化センターなるほど「建物と人」編バックステージツアーに行ってきました。

2. 兵庫芸術文化センターオーケストラバックステージツアーの経過



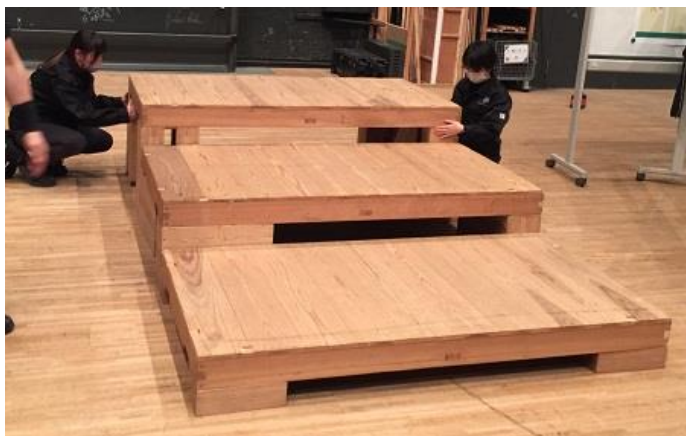
これまでに大ホールのバックステージツアーは、[KOBELCO 大ホールバックステージツアー報告\(2019.5.28\)](#)で、小ホールのバックステージツアーは、[兵庫芸術文化センター小ホールバックステージツアー報告\(2020.12.8\)](#)で、オーケストラのバックステージツアーは、[兵庫芸術文化センターオーケストラバックステージツアー報告\(2021.9.30\)](#)で報告済です。

今回は、建物と人の働きに焦点をあてたバックステージツアーで、配布された図面に従ってツアーがあり、それぞれの持ち場の担当者から説明がありました。

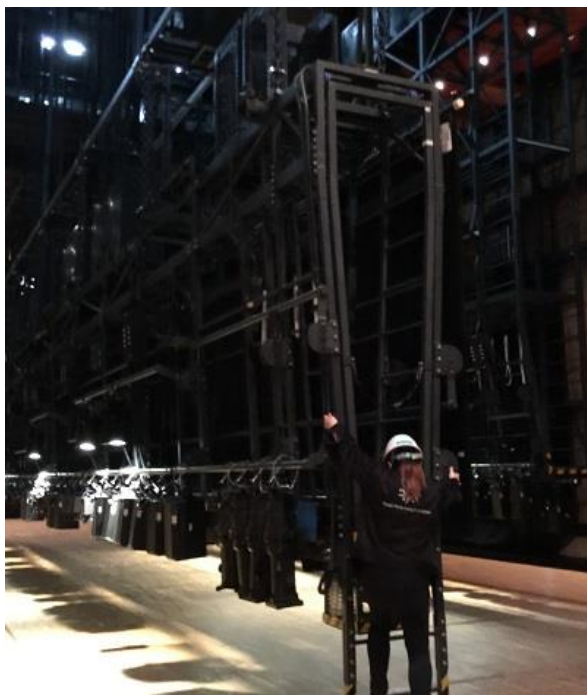
スタートは、まず警備陣の仕事の内容の説明から始まりました。開館、休館などに応じて業務と人員が割り当てられ、防災、防犯を24時間警備で行っています。

次に、受付や会場案内係の仕事の説明がありました。最近では、検温や消毒、その他の感染対策に対応しています。

次は、楽屋事務所の仕事で、開演内容に応じて、演奏者やスタッフの入館受付と楽屋への割り振りを行います。その日のプログラムの表示(写真)と、プログラム毎の参加人員の名前の表示パネルがありました。



照明の説明では、照明タワー（写真）や個々の照明装置などの説明がありました。色を出す色ガラスのようなものは 100 種類くらいあるそうです。電圧供給の調整は未だにスライダックも使用されていますが、サイリスタへの置き換えも行われています。照明装置は、白熱電灯から LED への置き換えもありますが、色合いの調整に工夫が必要とのことでした。照明のプログラムは、演出家の要望を受けて照明のデザインを行う専門家がいます。



屋上では、太陽光パネル（写真）や雨水をためて中水への利用の説明がありました。



地下の機械室（写真）では空調や上水や中水など、水の供給についての説明がありました。消火用の水も別配管になっています。



3. まとめ

建物の構造と配置や設備、そこで働く人たちの役割など、普段見ることのない裏方の仕事を興味深く知ることができました。

以上